

議会運営委員会会議録（平成21年10月6日）

I 開催日時

平成21年10月6日（火）13時00分～13時58分

II 開催場所

役場 4階 中会議室

III 出席者

委員長：山谷 仁 副委員長：高橋 寿

委員：日向清一、遠藤秀鬼、柳村 一、佐々木 剛、黒沢明夫

議長：角掛邦彦、副議長：川原 清

事務局：太田局長、岡田主任主査

IV 協議

1 開 会 太田局長

2 挨拶

山谷委員長：10月2日開催の議会制度調査特別委員会にて、議会活性化の取り組みの中で住民からのアンケート調査の実施について要請を受けました。本日協議いたしますのでよろしくお願いしたい。

角掛議長：特別委員会での調査3項目に加えその他の項目等も加えアンケート調査することで特別委員会から依頼を受け協議をいただきますが、住民の方々から広く意向を伺うことは良いことであるので協議をよろしくお願いしたい。議会制度に関しては、最終的な意思決定は特別委員会での調査を経ながら議会自らが決定することになりますのでよろしくお願いしたい。

山谷委員長：出席委員の確認をする。全委員出席し定足数に達しているので、本委員会は成立する。

3 協議事項

(1) 閉会中の継続調査事項について

① 議会の活性化について

山谷委員長：早速協議に入ります。まず、議会運営委員会とし、議会活性化等の項目と議会制度調査特別委員会からの要請の議員定数、報酬、政務調査費について、住民アンケートを実施することでよいか。

委員全員：異議なし

山谷委員長：そのように決定します。ではアンケート調査の協議事項について事務局より説明願います。

太田局長：協議いただきたいことを説明します。①としてダイレクトメールによる方法等もありますがその実施方法について。②として具体的な調査項目について、定数、報酬、政務調査費の3項目以外の調査項目について③として調査の時期について④として調査対象について以上4点についてそれぞれ協議いただきたいと思います。なお、総合計画の定点観測として経営企画課で実施している地域社会アンケートの実施例についてお示ししており、経費が約50万円程度要しています。議会費にはこれらの予算がありませんので、この形式で実施するとなれば補正予算を措置する必要がありますので申し添えます。

山谷委員長：調査項目について、議会活性化で進めるとしている成人議会の持ち方などもあると思いますが、その他ありますか。

黒沢委員：確認ですが、これまで議会として住民からのアンケート調査を実施したことはあるのか。

岡田主任主査：以前、議会広報についてアンケートを実施ことはありますが、このようなアンケート等の実施の例はありません。

黒 沢 委 員：導入部分になると思うが、「議会に関心があるか」、インターネット中継も予定していることから「インターネット中継を見ますか」、「地域の議員の名前を知っているか」などもいいのではないか。

高橋副委員長：今後予定している懇談会について、現在実施している団体との懇談会を紹介しながら懇談会の持ち方について、聞くこともよいのでは。

黒 沢 委 員：「議会広報を読んだことがあるか」はどうか。

佐々木委員：懇談会について、「自治会単位がよいか各地域単位がよいか」を聞くこともよいのでは。

柳 村 委 員：どのような調査の方法と量になるのかで聞く内容も変わるのではないか。

山谷委員長：では実際の調査方法について、事務局案があるようですので説明願います。

太 田 局 長：調査方法としては、ダイレクトメールによる方法の別案として、経費をできるだけ節約する方法として、11月5日発行予定の議会広報にアンケート用紙を折り込む方法かどうかと考えています。そうしますと約20,000世帯に配布されることとなります。回収の方法はfaxでの送信、インターネットでもメール、そして役場1階に回収箱を設置して受け付けてはどうかという案です。余談的になりますが、回答率を高めるために抽選により図書カードを進呈する方法もあるかと考えています。

岡田主任主査：織り込む用紙としては、A4版1枚で表裏印刷でと考えています。

黒 沢 委 員：村内全世帯に配布になるが、各世帯1枚となり若い世代からの意見もほしいと思うがいかがか。

高橋副委員長：説明文の中に、同一世帯での複数回答も可とすることを説明しその際はコピーをし回答いただくよう協力願ってはどうか。

柳 村 委 員：配布方法はよいと思うが、回収率を高める手立てが必要ではないか、例えば回答用のハガキを一緒に折り込むなどはどうか。

岡田主任主査：回答用ハガキを折り込む場合は、50円かける20,000世帯の経費または、後払い用のバーコード印刷の経費は必要となります。

柳 村 委 員：判断材料として住民の意向がわからなければならないので、結果の重要性を高めるためにもきちんとした方法をとるべきではないか。政務調査費を活用することはできないか。

黒 沢 委 員：各会派等に交付済みの政務調査費を利用することは事務的に無理ではないか。会派では対応できると思うが個人に交付されている方の残額も心配である。

岡田主任主査：方法は様々あると思いますが、経費をどの程度要しながら調査するのか協議いただければと思います。政務調査費の使途基準として、調査研究費の項目はありますが、その内容は村が行う事務及び地方行財政に関する調査研究に要する経費となっておりますので、議会が自らの制度等について調査することはこの基準に合致されないものと思います。

山谷委員長：調査の意義をどのように持つかである。相当額の費用をかけて調査を実施しなければならないのか、特別委員会でも議論されたようにあくまで参考意見として聞くことになっていたので、議運としても活性化の調査とそしてこの3項目について参考に聞くということでもよいのではないか。また、このようなアンケートは初めてであるし、最初から完璧なものではできないので、経費をかけず実施してみてもどうか。

高橋副委員長：アンケートで民意を確認するわけであるが、間接民主主義の制度の中で我々は住民の代表で住民に委ねられているわけで、最終的には個々が判断し自らで決定することになるので参考意見として聞くことでよいと思う。

柳村委員：民意に縛られるというわけではなく参考にすることは理解しているが、より回収率を上げるための方法論を議論している。活性化の取り組みとして、社会環境、民意、議会も常に変化するわけで今回だけの調査ではなく今後も継続して実施できるようにきちんとした方法を確立した方がよいと思う。

太田局長：アンケートの実施に際しては、今後議会広報編集特別委員長と打ち合わせをしますが、表紙でアンケート調査をPRし、さらにこれまでの取り組み今回の調査の目的などを掲載しながら回答にご協力いただければと考えています。より回収率が上がるよう方法は更に検討します。

柳村委員：住民が回答しやすい環境を作り間口が広がればよいと思うので、今回この経費を節約した方法で実施し、それを検証し次に繋げることでよい。

黒沢委員：議員宅のポストに投函する方法もよいのではないか。

高橋副委員長：議員個人宅での回収は止めたほうがよい。

黒沢委員：議会広報の中身を見ずに捨てられる可能性もあるので、折り込む用紙は、目立つように色紙にしてはどうか。

山谷委員長：そのようにいたします。

太田局長：調査の時期について協議願います。

山谷委員長：11月5日発行の広報に折り込むとして、11月末を回答締め切りとすることでよいか。

委員全員：異議なし。

遠藤委員：回収方法について確認するが、やはり調査に重みを持たせるためにも調査用紙を返信用封筒に入れ折り込んではどうか。

佐々木委員：やはり回収率を高めるためにも郵送にしてはどうか。

角掛議長：ただ今議論されているように、今回はできるだけ経費をかけないで実施してみてもどうか。今回実施して議運でその結果を検証し、回収率を高めるアンケートの実施方法について更に検討していくことでどうか。

日向委員：郵送による調査の方が回収率はよいと思うが、今回は回収方法の間口を広め節約型で実施することでよいと思う。

山谷委員長：では今回の調査は、議会広報に調査票を折り込み、回答はFAX、メール、そして役場、出張所、公共施設での窓口で受け付けすることでよいか。

委員全員：異議なし。

山谷委員長：ではそのように決定します。事務局でアンケート調査の案を作成し、委員にFAX送信し、意見をいただくようにしてください。その意見を踏まえ10月26日に議会運営委員会を開催し協議するものとします。

柳村委員：回答者に対する景品等の進呈はどうするのか。

山谷委員長：いかがですか。

黒沢委員：純粹に回答いただくだけでいいのではないか。

柳村委員：進呈するとなれば、住所氏名も記名いただくことになるので、率直な意見を書きにくい場合もあるのでは。

山谷委員長：それでは景品等の進呈はしないことでよいか。

委員全員：異議なし。

柳村委員：FAXで回答いただくとすれば、両面ではなく片面印刷の方がよいと思う。

日向委員：議会広報に解答用紙も掲載し、その部分を切り取って回答いただいてはどうか。

高橋副委員長：それには無理があるのではないか。

岡田主任主査：折り込みは2枚でも可能と思われるので、1枚を調査票もう1枚を解答用紙にすることも可能と思います。

高橋副委員長：A4版2枚でよいのではないか。

山谷委員長：そのように決定します。議員からのアンケートについて事務局より説明願います。

太田局長：特別委員会で決定した議員定数、報酬、政務調査費についての議員意向調査を26日の委員会で行い、その時にある程度の集計結果をお示しできればということで特別委員長と調整しています。

山谷委員長：次回の議運にて、アンケート調査の内容等と住民との懇談会についても協議する予定とします。開始時間は10時からとします。以上で議会運営委員会を閉会します。

(13時58分終了)